



広報

うまじ

第225号

平成17年10月1日発行



本気・本気…本気…!! (9/23 馬路保・小・中運動会)

自分の可能性を信じて
あきらめずに 練習し続けた。
その成果を 力を振りしぼって
発揮する 一人一人の姿が
輝いている。

目次

特集	馬路村総合防災訓練-----	②③
	はいっ!馬路村の特別住民課ですっ!-----	④
	ふるさとへの便り ほか-----	⑤
教育	キャリア教育を進める-----	⑥⑦
	Mr.カールのフォト・エッセイ-----	⑧
健康福祉	祝敬老の日-----	⑨
教養	馬路村の歴史と伝説 ほか-----	⑩
	フォト人ウォッチング-----	⑪
	高知大附属病院からこんにちは⑤-----	⑫
	赤ちゃん万歳 ほか-----	⑬
	議会だより-----	⑭⑮
	お知らせ-----	⑯
	村のできごと・村内あちらこちら-----	⑰

地震

発生

馬路村総合防災訓練

午前9時00分 地震発生

魚梁瀬地区に地震発生を知らせるサイレンが鳴り響いた。地震の最初の揺れは最低100秒以上続くということなので、サイレンの長さも100秒。

サイレンが終了すると直ちに、役場支所職員がマイクを持ち、「地震が発生しました。学校へ避難してください」と大声でふれて歩く。学校グラウンド入り口付近に立入交延征巡查が避難者を見つけると、「避難される方はグラウンドへ集合してください」と誘導する。

9時6分過ぎ、地区の人が続々と避難してきた。手押し車のお年寄りや足の不自由な小学生も近所の人と避難。「近所なので普段から仲良くしています。今日は避難している、私の前を歩いていましたので、手を引いてここまで来ました」とこやかに話してくれました。幼い長男の様子を気遣いながら、片手に傘を持ち、赤ちゃんを一人ずつ抱えたご夫婦や出産を間もなく控えた妊婦さんの避難はずいぶん大変そう。手助けがあると助かるだろう。また、負傷者を見つけた人は、二人組で脇を支えたり、頭と足を抱えて救助して

来た。

午前9時20分 避難訓練反省

参加住民全ての避難が完了したことを確認した後、上治堂司村長のあいさつ。「馬路村では津波はないが、山村ならではの山津波、道路の寸断、家屋倒壊などの危険がある。震災後すぐには公的な援助はなされない。そういう際、人々の命を助けたのは地域の自主防災の力であった。この防災訓練を機に自主防災組織を立ち上げてほしい」と話した。

それを受け、役場職員（防災担当）高橋晃さんが、最初の強い揺れるとき身を守る行動を取れたかたずねたけれど、ほとんどの人ができていなかった。続いて、負傷者の救護について感想を求めると、「まったく動けない人を連れてくるのは大変でした。何名かで交代する必要があるですね。板とか布とかタン力代わりになるものを使う訓練も必要です」「崩壊して通れない道もあるし、けが人が見えにくいことがあるかもしれません。普段から地域を知ることが大切ですね」とのことでした。身を守る行動を必ずとることや負傷者の救

〈訓練に参加して〉

- ・今日はお隣が誘ってくれたので参加しました。知らないことばかりで参考になったので、地震は先のことだと考えず、これからも訓練したいです。
- ・小さい子どものペースに合わせて避難するのは大変でした。いざの時は、両手に子どもを抱えなければならぬので、人のことどころではないでしょうね。
- ・なかなか上手に火を消すことができませんでした。地震の中ではなおさら慌ててしまうでしょう。訓練を定期的に続けてほしいです。
- ・まず洗濯機を止めて孫の様子を見たら、お母さんが避難の仕方を教えていました。こういう訓練は大事ですね。
- ・100秒は本当に長い。頭の方にタンスがあるので危ないと思いましたが、家の中を見直したいです。
- ・毎年このような避難訓練を地区ごと（ごく近所単位で）に行っていました。だから、持ち出し袋に、下着、缶詰、ろうそく、電池ぐらいいはいつでも用意しています。今日も背負って来ています。



歩いて逃げるのは大変！でも、訓練しておかないといざという時に体が動きません

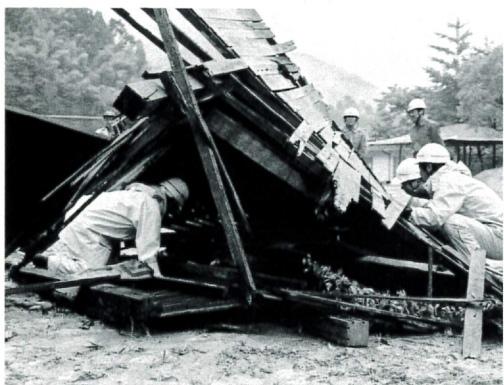
9月4日(日)、あいにくの雨の中、魚梁瀬小中学校グラウンドで総合防災訓練が行われ、魚梁瀬地区民110名が参加し、熱心に訓練を行いました。



よく火元を見て、あわてずにね



負傷者を探す



慎重にタンカに乗せる



リーダーの的確な指示が飛ぶ



負傷者は重いつ!



やっと着いた、一安心

今日は訓練。負傷者も
少々元気である



「あわてて消火器を使うと、白煙で部屋の中の目的物が見えなくな

りは白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

消火訓練を実施。次第に辺

り白煙に包まれた。次々積極的に

火を集めるように消火をする」と

いう中芸消防署の方

の説明の後、「たっ

た16秒とは短いね

よう消すろうか」

と言いながらも、

魚梁瀬婦人会の

メンバーは、

次々積極的に

消火訓練を實

施。次第に辺

り白煙に包まれた

。次々積極的に

ることもある。また、火が消えた

つもりでも、ちゃんと確認してお

かないと再燃するおそれがある。

完全に火元を断つように」と注意

を受ける。

午前10時00分 倒壊家屋救出訓練

地震により倒壊した家屋に、逃

げ遅れた人が二名いるのを発見。

倒れてきた柱に圧迫されている状

態である。魚梁瀬青年団五名、魚

梁瀬小中PTA五名がそれぞれ一

名ずつ救助する。

最初の一名は姿が外から見える



白煙が立ち込め、目的物
が見えにくい

場所倒れていた。青年団五名は

しゃがんで倒壊家屋を覗き込む。

負傷者の状況と辺りの状況をよく

見て、ジャッキを使って圧迫して

いる柱を持ち上げ、負傷者を引

張り出し、タンカに乗せて救護所へ。

比較的スムーズに救出が完了。

続いて魚梁瀬小中PTAの訓練。

慎重に屋根をはがし、倒れている

人を発見。会長の「負傷者意識な

し。さらに倒れる危険性あり。障

害物を取り除いて救助」という確

認、指示の元、安全に配慮しなが

ら、まず倒れてる柱を取り除く作

業だ。作業に夢中になると、全体

確認が抜かり、ガタツと柱が傾く。

「崩れるぞ! 慎重に!」注意の声

が飛ぶ。悪戦苦闘しながら負傷者

を救出した。そして、「いざとい

う時に備え、自分たちで道具類の

準備をしておく必要がある」と話

してくれた。

午前10時30分 訓練終了

※ 防災訓練は定期的に行うことこそ大切です。(高知県



ふるさとへの便り 14

馬路出身の
同居者と

岡山市
大野 藍
(相名 出身)

▼疲れをいやしてくれる
可愛い「ユズ」といっしょに



馬路中学校を卒業し、村を出てから今年で九年目になります。私は今、岡山大学医学部附属病院で看護師として働いています。勤務が不規則であり、なかなか休みらしい休みがないため帰省できず残念に思います。

岡山でも馬路村のボン酢は有名で、馬路村はどんなところ？とよく聞かれます。その時に思い浮かぶのは、山々に囲まれた田畑、橋の上からでも魚が見えるほど透明な川、冬でも夜空に見える天ノ川といった自然豊かな村。そして出会うごとに声をかけ合う村の人々の姿です。あと、村の魅力として忘れてはいけません。

現在、岡山の私の部屋には私以外の馬路出身者がいます。写真と一緒に写っているのが野うさぎのユズです。五月に柚子畑で拾った(捕まえた?)場所は赤ちゃんでしたが、とても大きくヤンチャになりました。ユズにも馬路村の自然の味はわかるらしく、実家から送ってもらった葉っぱは食べ方が全く違います。

この秋には柚子の収穫に合わせて休みを希望しているの、ユズと一緒に、馬路村へ里帰りしようと思っています。



ボランティア受け入れ 農園募集

馬路中学校ではボランティア活動の一環として、地域の特色を生かした柚子収穫のボランティア活動を実施しています。こうした体験を通して、柚子生産の苦労や生きがいなどを肌で感じとり、地域を考える場としたいと思います。是非、こうした趣旨をご理解いただき、体験の場を提供していただきますようご協力よろしくお願いします。

1. 日時
平成17年11月17日(木)
〈雨天の場合は18日(金)実施〉
午後1:20 学校出発
↓ 3時間ぐらいの作業になります。
午後4:30 農園出発
2. 募集戸数
3戸 (6~7人のグループでお伺いします)
3. 締め切り
平成17年10月27日(木)
4. お問い合わせ先
馬路中学校 電話 2-1007

第6回
柚子とりボランティア

馬路中学校
地域応援団

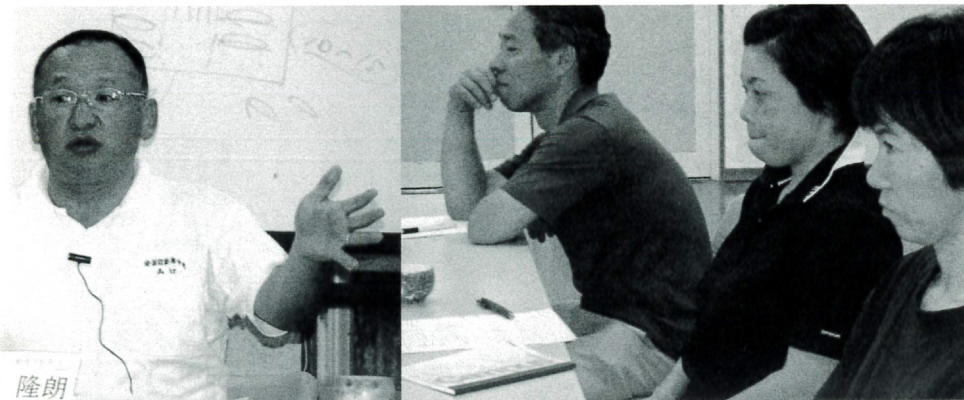
おめでとう

高知県歯科医師会会長賞受賞

子どもたちが心も体も健康でスクスク成長するためにとっても大切な事は、基本的な生活リズムを確立することです。魚梁瀬小学校では、生活リズムの大切さを考える取り組みの一つとして、虫歯予防の標語とポスターのコンクールに応募してきました。今年は四千六百以上の作品の中から、二年生の梶原真友さんの「いい笑顔 家族そろって、楽しい歯みがき」が、高知県歯科医師会会長賞を受賞しました。

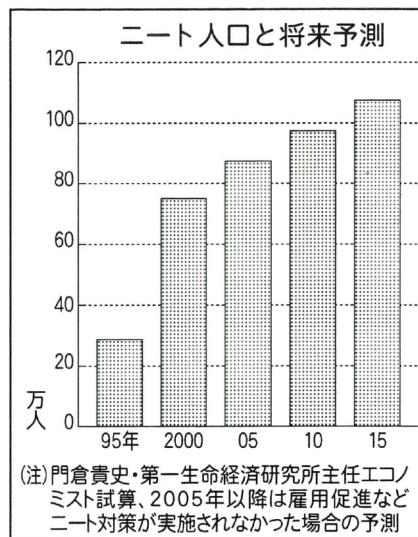


賞を受ける梶原真友さん(右)
(歯科医師会館にて)



教育を進める

第1回キャリア教育推進連絡協議会



高校を中退して、あるいは卒業後、「働けない」「学校にも行けない」若者の存在が目につきました。馬路村とて例外ではありません。ニートと呼ばれるその存在は現在八十五万人とも言われ、年々増えています。これは社会を増やす大きな問題です。

馬路村では、子どもが生涯にわたって社会で活躍できることを願い、その実現を目指した教育、「キャリア教育」の定着・充実に、今年から二カ年をかけて取り組むこととし、学校ですでにその取り組みを進めています。

教育委員会では、学校関係者、職場体験学習受け入れ事業主代表、保護者代表を構成員としたキャリア教育推進連絡協議会を立ち上げ、キャリア教育の課題と課題解決の方向性を探っていくこととしました。

九月九日(金)、馬路村就業改善センターにおいて第一回キャリア教育推進連絡協議会を開催。安芸自動車学校社長、山口隆朗氏を講師に、社会(会社)はどんな人材を求めているのか、現実の若者の実態はどうか、そのような実態に陥った原因は何かについて協議しました。

会社が求める人間像

会社はいろいろな人の集まりです。お互いが気持ちよく過ごせ、伸びてゆくことができなければなりません。だから、

- ① あいさつができる！
(大きな声で元気よく)
- ② 時間が守れる！
(約束が守れる！)
- ③ 仕事の後片づけができる！
- ④ 人の話が素直に聞ける！
この四つに付け加え、

- ⑤ 絶対に呼び捨てしない。
 - ⑥ どんなことを頼むにしてもお願いせよ！命令はするな！
- ということを大事にしている会社もあります。いろいろな性格の人の集まりなので、和を持って仕事ができるように、会社が求めているのは、人間としての基本だけのようにです。「後は、労働者を守り、育てていくのが会社である」と事業主さんたちは言い切っています。それなのに、なぜ若者はすぐに仕事から離れていくのでしょうか。

対話力向上を目指す

若者の早期離職の原因は会社で他の人と十分なコミュニケーションが取れないことだ

そうです。学校では、キャリア教育の中の一歩大切な力は人間関係能力(コミュニケーションの力)の育成だと考えています。特に相手の話をきちんと聞くことができる力を、道徳を中心に各教科等の中で日々意識して培おうと取り組んでいます。また、自然に人との接し方を学んでほしいと願い、ふれあい事業を企画したり、地区行事に積極的に参加するなどにも努めています。

若者に欠けている常識

● 自動車学校へ通ってくる若者が所定の場所へ自転車を整列して置くことができないのに驚きます。教室に近い所へ最初の人が置くと、それに習えで置いていくのです。通路をふさいでいるのに気にならないようです。

● 自転車で二列になって歩道を通っている高校生。対面通行する自転車を見ても一列になろうとせず、中央を開けて通ろうとします。見かねて相手が自転車を降りて道縁へ寄りますが、お礼も言わず、二列のまま通り過ぎていく。よく目にする光景です。

● 職場体験に来る中学生にトイレ掃除をしてもらっていますが、濡れないように下駄を

写真中央：講師 山口隆朗氏、左：学校関係者、右：保護者代表



協議会委員

- 竹崎 義秀氏 (馬路中学校長)、安岡 一成氏 (馬路小学校長)
- 山中 理史氏 (魚梁瀬中学校長)、佐古 真一氏 (魚梁瀬小学校長)
- 五味 隆仁氏 (馬路小・中PTA会長)、山崎 出氏 (魚梁瀬小・中PTA会長)
- 乾 栄美氏 (馬路小・中PTA研修部長)、渡辺 知恵氏 (魚梁瀬小・中PTA副会長)
- 東谷 望史氏 (馬路村農業協同組合専務理事)、林 義人氏 (馬路温泉支配人)
- 湯浅 雅文氏 ((株)湯浅建設社長)、上村 安和氏 (東部教育事務所指導主事)
- 清岡 博之氏 (馬路村教育長)

キャリア教育で育てる4つの力

働くことや仕事を理解する力 ○職業理解能力 ○情報収集・探索能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及び、その多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。
将来を設計する力 ○役割把握・認識力 ○計画実行力	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。
意志決定する力 ○選択力 ○問題解決力	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題に積極的に取り組み克服していく。
人間関係を築く力 ○自己理解力 ○他者理解力 ○コミュニケーション力	他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、さまざまな人々とコミュニケーションを図り、協力・協働してものごとに取り組む。

キャリア

地域全体がつながろう

「同じ馬路村で育ちながら、魚梁瀬地区の子どもは元気があるのに馬路地区の子どもには元気がない」という発言が飛び出しました。その言い分に耳を傾けてみると……。

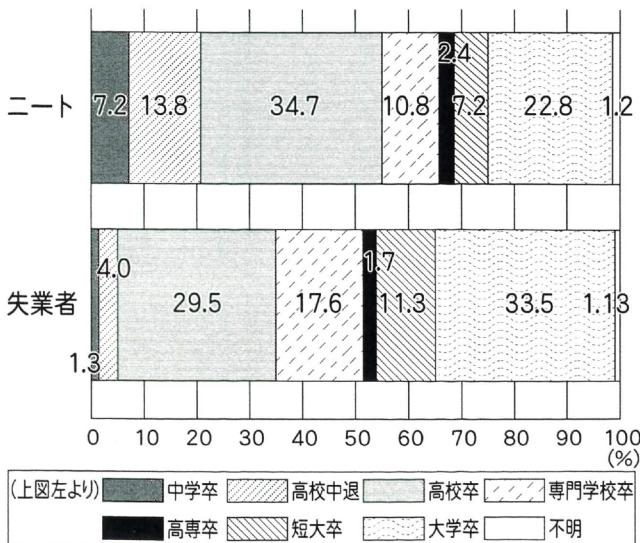
魚梁瀬：キャリア教育の四つ

片づけてから水を流してこするということすら、いちいち言わないとできません。自分のことしか考えられない姿が浮かび上がります。人間としての基本は教わらないと身に付きません。家庭教育は大丈夫でしょうか。

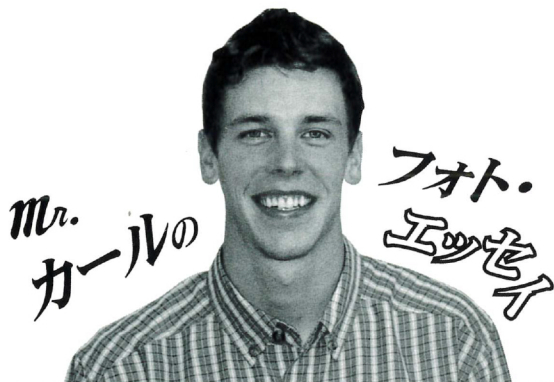
の力については親自身に十分に身に付いているとは言えません。でも、うちの地域には親と学校以外に「地域の力」があります。もし、働かない若者がいれば、「おまえどうしよう」と論じてくれる地域の人がいいます。地域という教育力が大きくゆったりと包んでいて、親のレベル、子のレベルを引き上げてくれています。地域行事が多くて大変な面もあるけれど、その後の宴会では、お酒の力も借りながら世代を越えてぎざぎざに語り合います。その中で親も成長させてもらっています。

馬路：家庭単位で孤立したり、グループ単位で固まったりしているように思います。その中で、大人同士の交流を嫌い、先生全体との交流もぐっと減ってきました。そして、子どもたちは、グラウンドや体育館では元気なあいさつをするが、その他の場面では話をする話をする人を見て素直に話を聞くことができない、仕事を頼んでも名指しでないと動かない、……と変わってきています。

ニートと失業者の最終学歴



(『ニート』玄田有史・曲沼美恵著、幻冬社より)
テストの点数は向上したけれど人としての成長が不十分のまま進学する。その結果、大学卒業後にニートや失業者になる割合が高くなっている。



①
外国語指導助手 カール・レイフ・エリクソン
(アメリカ合衆国、ミネソタ州、サークルバインズ 出身)

馬路村の印象

こんにちは、みなさんの隣人、外国語指導助手(ALT)のカール・レイフ・エリクソンです。馬路村に着任していらし、何人かのみなさんが「カール、馬路村の第一印象は？」と質問されました。答えるのは非常に難しいのですが、広報うまじの僕のページの第1号に取り上げてみます。

まず最初に馬路村は僕の町とは非常にかげ離れていたということを言わなければなりません。僕のふるさはアメリカ合衆国ミネソタ州の郊外の町(city suburb)に位置します。City suburb というのは、人口三百万人の巨大な都市、ミネアポリスを囲んでいるたくさんの町を意味しています。ですから、馬路村へ来たときには、なんと小さな村だろうと思ったのです。でも、ショックはすぐに消え、馬路村の魅力を実に理解し始めました。

で、今はどう思っているかって？

そうですねえ、馬路村は偉大で、驚異的で、魅惑的な場所だと思っています。すごいよ、本当に！みなさんは、僕が大げさすぎるとは思っていないが、それでは、いくつかの写真と一緒になぜそう思っているのか説明しましょう。

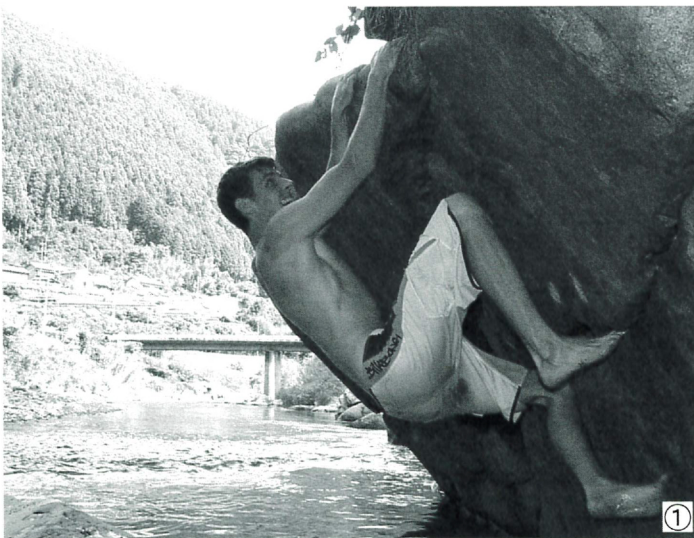
まず最初の理由は、馬路村にはたっぴりの自然があるからです。僕は自然が大好きです。(大学で生物学を勉強していたことは前回の広報でお知らせしましたね)。馬路村には何年も探求に没頭できるほどの自然があります。このカールの写真は馬路村に来て2日目に撮ったものです。この他、チョウチョ、イモリ、トカゲ、クモ、サル・・・いろいろな写真を撮りましたよ。

もう一つの理由は、美しい森を持つ緑の山々とガラスのように透明で青い川があるからです。誰か気づかれましたか。僕は家の前の竹やぶと低い灌木を切り払いましたよ。それで毎朝、窓から美しい川を眺めることができるようになりました。

最後の理由は、馬路村に住む方々の印象がとても良かったことです。みなさん、とても親切で面倒見がいいですね。だから、馬路村はステキなんです。

素晴らしい印象を僕に与えてくださって有難うございます。

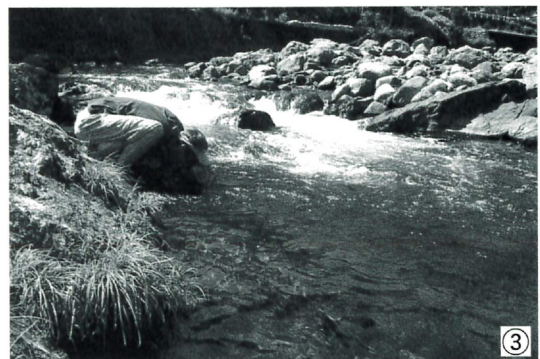
新しいALTのカールさんの特技の一つは写真撮影です。今回から、このコーナーでは、カールさん自身が撮影した写真とそれにまつわる話を掲載します。お楽しみに。



- ① 大好きなロッククライミングを楽しむ (朝日出橋付近にて)
- ② 自宅のまわりで見つけたとてもかわいいアマガエル
- ③ 明日の釣りに備え、かっぱりで川の中のをぞきこぶ (相名にて)

※ ①と③は、セルフタイマーを使って撮影しました。

※ 表紙、運動会の写真も、カールが撮りました。



祝敬老の日

魚梁瀬敬老会 9/12/8
馬路敬老会 9/12/8



▲ 小学生の手紙とプレゼントに感激 (魚梁瀬)



▼ 寸劇「家屋改修詐欺」

本年度の敬老会は、魚梁瀬地区九月八日(木)、馬路地区十二日(月)に開催されました。

七十五歳以上の対象者は、魚梁瀬で四十二名、馬路で百四十九名となりました。

最高齢者は、魚梁瀬の小原重見さんで百一歳(現在ヘルシーケアなはり入所)、次いで馬路の清岡玉喜さん(相名)と永吉功さん(影)の九十九歳です。清岡さんは、毎週月曜日にデイサービスへ通っています。デイの昼食を全部食べ、いきいき百歳体操で柔らかい体を披露し、みんなを驚かせています。永吉さんもデイに

在宅最高齢者は99歳で2名

来たときには、歌好き踊り好きで、勧められたことには何でも一生懸命取り組んでいます。特にパズルが得意でがんばっています。魚梁瀬の敬老会には十九名、馬路の敬老会には五十八名が出席。日本舞踊、大正琴、保育園児・小中学生・婦人会の踊りや歌に顔をほころばせていました。今回両地区で演芸のトリを務めた清岡博之教育長、安養寺淑江先生による寸劇「振り込め詐欺、家屋改修詐欺」での二人のやりとりには、会場から、「じき農協から金を振り込むき」、「白アリ駆除もついでにやってもらう」、

安心して暮らせる地域づくりを

「あの二人地でいけよう」という声。すっかり引き込まれていたようです。現在、村では七十五歳で一人暮らしの方が約五十人、お年寄りだけでくらしている方が約二十組います。劇の最後には入交延征駐在さんから、「お金を振り込む前に絶対確認すること」、「改修が本当に必要か地元の人に確かめること」などの注意がありました。そして、「何かあったら、必ず相談してくださいね」の言葉に、参加者全員が大きくうなずいていました。いつまでもお元気で安心して暮らせるよう、みんなが温かく支えていきたいものです。

献血にご協力を

事故や手術などの際には大量の血液が必要です。しかし、医療技術が発達した現在でも、血液と同じ作用を持つものを人工的に作ることはできず、私たち自身が提供するしか血液確保の方法がありません。

一方、血液による病気の感染を防ぐため、感染症についての新たな事実が明らかになるにつれ、献血をご遠慮いただくなくてはならない人が増えてきています。

馬路村での献血状況 (毎年4月実施)

平成16年 協力者33名 献血者31名
平成17年 協力者40名 献血者29名

今後、輸血用の血液の確保がますます難しくなることが予想され、あなた自身やあなた大切な人の万が一の際、輸血ができなくなる恐れがあります。

高知市にある献血ルーム・ハートピアやまもも(中央公園西隣り)では、年末年始を除き毎日、献血協力者をお待ちしています。皆様のご協力をお願いします。

【問・TEL】献血ルーム・ハートピアやまもも(088-822-5454)

「エイズ」はあなたの問題です

「あなたの元カレ(彼)、元カレの元カノ(彼女)、元カノの元カレ……」という、愛する人との性交渉が悲劇となる可能性を示唆するテレビの宣伝をご存じですか。

エイズは、HIV感染後も長い期間発病することなく社会の一員として生活を営むことができる病気です。ですから、エイズに対する正しい知識を持っていないと、あなたやあなたの家族がエイズになることは大いにあり得ることです。また、通常生活の中では感染することはあり得ないこと、エイズ発症を止める有効な薬が開発されていること、血液製剤使用でエイズになった方がいることなどを知らないと、知らずに患者や感染者に差別や偏見を与えることになりかねません。

12月1日は世界エイズデーです。

中学校では下記の日程でエイズの学習会を行いますので、ぜひ参加していただけますようご案内申し上げます。

魚梁瀬中学校 11月16日(水) 午前中

馬路中学校 12月21日(水) 午前中(参観日)

※ 長寿祝い金の改正については広報うまじ222号に掲載

馬路村の歴史と伝説



(通算第118回)

馬路公民館長 山中 巖

土佐では昔から武家の間の言葉は随分いんぎんであった。それが乱れたのは、江戸のやぐざ言葉が入って以来のことだ。というのは、山内家四代の太守豊昌公が元禄十三年(一七〇〇)九月に卒去、嫡子がなかったので、分家の武蔵指翁三千石の領主山内豊房公が養子となって本家を相

があるわけでもないし、そこで急きよ家来を集めた。といつて素性の正しい武家はころがつているわけもなく、裏長屋住居の浪人とか、身をもてあましたやくぎを集めて、「わか侍」に仕立て、それで高知へやってきた。楠目盛徳の随筆「手抄」にはこんなことが書いてある。

ちよつと「服・おぬし」「おら」について

続した。これも子どもがないままに宝永三年(一七〇六)六月に卒去。そのため弟の豊隆が旗本鳥居家の養子になっていたのを取り戻して本家を相続した。本家山内家は二十四万石、深尾や五藤など堂々たる家老たちが十人余もいるし、いかに分家といつても高知の城へ乗り込むには相当手持ちの家来を連れて行かないのでは気が引ける。旗本の養子だった身分では譜代の家来

「昔、新橋より御供して土佐の国へ来たれる侍を、土佐の旧臣大いに忌み嫌ひ卑しみて、縁辺の交わりなどは総てせざりしなり。いかなる訳といふに、新橋より御供の人々を尋問するに塵紙買いやら糠買いやら何もわからぬ故の事なり」

「おぬし」「おんし」「おら」は「わたくし」「わたし」「ぼく」などであろう。標準語はいうまでもなく国の公用文や教育・放送などで使われる規範としての言葉である。由来は、明治時代に国が東京のある地区の言葉を基にして標準語を決めたと聞いている。現在全国で使われている。「おぬし」「おんし」「おら」などは土佐の方言として平常使われ、約三百年の歴史を持っている。私たちは土佐(地

うな言葉が城下侍に伝染し、城下からたちまち四方へ広がったと、言葉の品格が墮ちたことを嘆いている。

右の文章は、高知市出身で県下の歴史家としては第一人者とされた平尾道雄氏の多くの著書の中の「土佐庶民史話」の「土佐言葉」に書かれた一部分である。

「おぬし」「おんし」「おら」など私たちが現在使用している方言は、約三百年前の江戸の庶民言葉が土佐に伝えられた事を知るのである。標準語(共通語)で言えば、「おぬし」は相手によって「○○さん」「あなた」「きみ」など、「お

馬路村俳壇

朝霧の山小綬鶏のおせんば
根こそぎに花虎杖と落石と
水源をたどりて行けばごその山
仲秋や湯けむり放つ杉の椅子
満水のダム秋色や診療所
健診の三日つづきや星流る
台風で泊めていただく役場かな
敬老会胸のたかなる娘の舞台
栗ひろう散歩がえりの坂の上
山の子に返す挨拶かりんの実
親友の守宮くるころ灯をつけろ
椀にうく花麩ゆたかに白露かな
濡れいろの木洩れ日ばかり吊忍
月の出て庭の暗がり花梨の実
瓢箪に詰めたる酒を思ふべし

山崎喜久子
高芝 俊二
高芝 栄子
池 蘭子
東谷 晴男



やま うち とよ たか
山 内 豊 隆
土佐6代藩主(1673~1720)
江戸で没する。48歳
(土佐山内家宝物資料館)

域)の文化として語り続ける。②「手抄」とは、自ら写し取る、自ら写し取った物の意味。

フォトウォッチング³⁰

ひら やま たかし
平 山 崇 (影)



▲ 消防屯所で団長就任にあたっての熱い思いを語る

「防災に強い村」にしたい

防火づくりでも十七分くらいで最盛期（一番よく燃える）に至るとか。しかし、中芸消防署から馬路地区までではどんなに急いでも二十分以上、魚梁瀬地区までは四十分以上かかる。地元消防団の役割は非常に大きい。「火事発生！」の一報を受けると、最低人数の三人集まれば一、二秒を争って出動している。（四、五人で

今年四月、新しい消防団

長が誕生した。馬路村消防団に入団し、防災に携わって四十二年の平山崇さん（六十四歳）だ。

平山さんが入団したのは昭和三十七年十一月。自動車の修理・販売という仕事柄だろうか、入団してすぐ、ポンプ車の機関員という役目をもたらした。ポンプ車を火事の現場へ運び、ポンプで水をくみ上げ、消火作業を行うのが役目だ。毎回の演習では、ポンプ車の操作の手順を教わり、その通り

にやれるよう訓練を繰り返したそうだ。それでも、実際に火事の現場を目の前

すると、操作をまちがいでエンジンが動かず、「馬路の消防はどうしよらあ」と怒鳴られ、ますますパニックに陥って操作が遅れ苦い思いをかみしめたこともある。

しかし、それをバネに、本業の合間にもイメージトレーニングを行い、演習日には真っ先に機械に飛びつき、練習を重ね、少しずつ自信を深めてきたそうだ。

本造の家屋では、二十分前後で完全に燃え尽くし、

一台の消防車を動かすのがベスト。

団長就任にあたっては、「防災に強い馬路村」にしたいという願いを持つ。

「出張、山仕事など、村内にいる消防団員は多くない。いざ出動に備え、毎月五日の演習にはできるだけ参加して、練習を重ねて自信をつけてほしい。参加しやすいよう、職場や家庭の理解を是非ともお願いしたい。

そして何より、みんなで馬路村から火災を出さないという意識を盛り上げていきたい」と熱く語ってくれた。

馬路婦人会、老人クラブ、馬路小中PTAやその他社会教育団体が協力し、平成十六年四月『にっこりの会』を立ち上げました。地域の教育力向上を願い特に力を入れて取り組んできたのが「あいさつ運動」です。

「そんな活動せんでも、あいさつぐらいできようろう」という声も聞こえてきますが、大人の間でもきちんとできていないのが実情ではないでしょうか。

あなたにとって「あいさつ」って何ですか。一人一人が改めて考えた仲間と話し合っていたきたいと考え、あいさつ標語を募集します。また、心に響く標語を文化祭の場で選んでいただきたいと思えます。

あいさつを通じて心と心を通わせ、いつでも助け合える「結いの里・馬路村」を目指すこの企画に多数ご参加ください。



あいさつ標語大募集

～にっこりの会～

方法 規定の応募用紙（但し、他の用紙も可）氏名、標語を記入 一人一句

提出先 村内各学校 教育委員会 役場魚梁瀬支所

締切日 十一月十一日（金）

対象者 馬路村内在住者

審査 馬路村文化祭会場 十二月十日、十一日 来場者による投票

発表 広報うまじ二七号

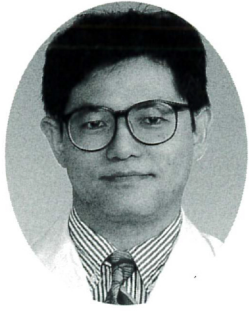
著作権 入選作品の著作権はにっこりの会が所有します。

注意事項 ①作品は未発表のものとしませう。

②応募作品は返却しませんので、ご了承ください。

③ご記入いただく個人情報、運営上の管理、本人への連絡に限り、利用いたします。

高知大附属病院からこんにちは ⑤



のう こう そく

脳梗塞の治療

脳神経外科

やまだ しょうこう
山田 昌興 医師

皮膚のかすり傷や切り傷は糸で縫合する等して自然に治ります。これは、皮膚の細胞が再生するからです。一方、脳の細胞は特別で、一度死ぬと二度と再生しません。脳梗塞とは、脳の血管が血栓（血液が固まった状態）や塞栓（血管を塞いでしまう物）によって詰まり、血液が行き届かなくなり、脳細胞が死んでしまった状態を言います。つまり、脳梗塞が治ることはありません。

ただし、脳血管が詰まったら直ぐに脳細胞が死んでしまうわけではありません。一般的に2～3時間以内に治療を開始し、再び血液が通うようになると脳細胞は死なずに済み、脳梗塞の程度をできるだけ小さくすることも可能です。脳梗塞の治療は時間との勝負とも言えます。症状（手足がしびれる、ろれつが回らない、意識を失うなど）が現れた時には、速やかに救急車を要請して、一般内科、神経内科、脳神経外科などを一刻も早く受診して下さい。

できるだけ大きな病院（大学病院、脳卒中センターなど）での診断、処置をお勧めします。と言いますのも、従来の頭部CTやMRIでは脳細胞が死に至った後ようやく診断されるもので、早期の治療方針決定には役立たないからです。大学病院には特殊なCTやMRIがあり、脳梗塞に至る前に診断できる場合があります。加えて、目覚ましい技術の向上により、閉塞した血管を立体的に映し出すことも可能となってきました。

脳梗塞は突然起きる病気です。現在は健康診断、脳ドッグが盛んになりつつあり、これといって症状がないけれども、脳血管の狭窄（血管が細くなること）、閉塞（血管がふさがること）を起こしている方が大学病院にも多く紹介されます。健康であるときにこそ、このような検査を受けておくと、心丈夫でいられます。

速やかに、大きな病院へ



か し じょうみやくりゅう

下肢静脈瘤について

外 科

まつもと やすひさ
松本 康久 医師

下肢静脈瘤というのは、脚を通っている静脈の弁（フタのようなもの）が壊れて、血液の逆流を防げなくなり、その結果、静脈がポコポコと膨れてきたものをいいます。成人の約3～5割の方がかかっている、主に女性に多い病気です。長時間の立ち仕事も誘引になります。最初は症状がないせいで、病院にかからない方が多いのですが、病気が悪化してくると、張った感じやだるさ、むくみ、かゆみ、痛みが出てきます。また、症状が重くなると皮膚炎や色素沈着、さらには皮膚硬化や皮膚に穴があいてしまう場合もあります。

診断は、見ただけで下肢静脈瘤を発見できますが、どのくらい進行しているかを調べるには、静脈をエコーで観察する検査やAPG（空気容積脈波検査）という検査（脚に空気の入ったビニール袋を着け、脚の圧力の変化をパソコンでとらえて解析する）をお勧めします。これらは安全で痛みがないものです。

治療法としては、軽い症状の方には「弾性ストッキング」という専門のストッキングを履いていただくと、症状を軽くしたり進行を抑えますが、それで治るわけではありません。根本的な治療としては、レーザー治療や手術をお勧めします。私たちは、これらの治療法を、超音波を用いた特殊な局所麻酔下に、片足20分～40分という短い時間で終わることが出来ます。このような方法であれば、治療後すぐに歩けますし食事もできます。また、日帰りも可能で、患者さんの負担は非常に軽いものになりました。

膝の下の内側にコブのような大きな膨らみが出た方、また皮膚病を発症した方、かゆみ・痛みが出た方は重症化している可能性がありますので、治療を受けることをお勧めします。

静脈の膨れに注意

赤ちゃん万歳

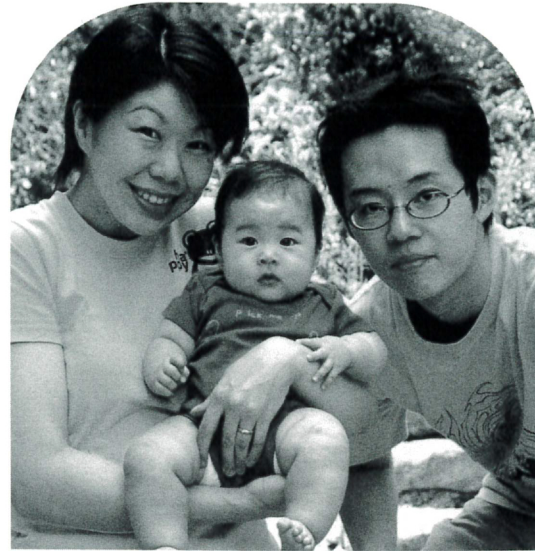
—パパ・ママとごっしょ—



ひなと
大野 暖人くん (日浦)

平成17年6月3日生

(保護者 大野源人・紫織さん)



さらさ
式部 更紗さん (東川)

平成17年4月25日生

(保護者 式部宇晃・幸代さん)

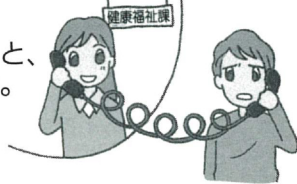
こんにちは。僕の名前は暖人です。みんなに「何と読むの」とよく聞かれるけど、お父さんとお母さんが、思いやりのある心のあたたかい人になるようにと付けてくれました。僕が今一番好きなのは、お父さんと祐生お兄ちゃんと一緒にいるお風呂です。とても気持ちよくて、たまにお風呂の中でぐっすり寝てしまふことがあります。お母さんと一緒に行くお散歩も大好きです。みんな僕を見かけたら声をかけてね。

みなさんははじめまして。私の名前は式部更紗です。最近は大きな声が出るようになってきました。身ぶり手ぶりもまじえて、ちとははに話しかけてみるんですが、まだうまく伝わりません。早く言葉覚えてお話もできるようになりたいです。あと、いろんなことに興味が出てきたので、あちこち出かけたり、いろんな人と友達になりたいです。みなさん私を見かけたら、どんどん話しかけてください。

児童相談受け付けます

これまで、子どもに関する相談や通告は、児童相談所で受け付けていましたが、児童福祉法改正により、平成17年4月から住民の皆さんに身近な市町村でも通告を受け付けることになりました。

「気にかかる親子がいる」「力になってあげてほしい」と、ひとこと知らせてください。



主な相談内容

- 子育てについて
 - ・子どものしつけや子育てに悩んでいる。
- 養護について
 - ・親が子どもの面倒を十分みられない。
- 虐待について
 - ・虐待かどうか気になっている子どもがいる。
- 非行について
 - ・盗み、怠学、夜遊び……子どもの行動に悩んでいる。

相談・通告窓口

馬路村役場 健康福祉課
電話 4-2112

ひとりで悩まないで!

高知県女性相談所をご存じですか。さまざまな悩みを抱えている女性のために、少しでもお役に立てるように設置している県の相談機関です。お気軽にご相談ください。

主な相談内容

- *配偶者からの暴力
- *男女間のトラブル
- *離婚問題
- *家庭や職場などの人間関係
- *その他、人に言えない悩み

相談時間

来 所：高知市愛宕町3丁目12-29
月曜日～金曜日 8:30～17:15
電 話：088-822-5520
毎 日 8:30～17:15
18:00～21:00

巡回相談

窓 口：安芸市女性の家
日 時：奇数月(1, 3, 5, 7, 9, 11月)
第3月曜日 10:30～15:30
電 話：0887-34-3514

議案だより

No. 102

平成十七年九月定例議会は九月二十日から二十六日まで七日間開催された。

初日は、諸般の報告、同意議案二件、専決処分、執行部提出議案各一件の審議、採決の後、平成十六年度六会計の決算、その他議案の提出説明が行われた。

二十五日までは議案精査のため休会、二十六日は一般質問、議案審議、意見書案の採決が行われ閉会した。

議案と審議結果

九月定例議会には、同意議案二件、承認議案一件、認定議案六件、その他の議案十二件、意見書議案一件の提出があり、何れも全員賛成により可決された。各議案の内容は次のとおりである。

- ◎助役の選任
大字馬路三〇四八番地
清岡 博之
昭和二十八年十二月七日生
- ◎教育委員会委員の任命
大字馬路三二二三番地
岡田 元生
昭和二十五年九月十七日生

- 〔専決処分の承認〕
◎十七年度一般会計補正予算歳入歳出それぞれ二百四十万円追加し総額十九億一千九百四十万円とする。(衆議院議員選挙に要した経費補正。)
- 〔十六年度、六会計歳入歳出決算の認定〕
◎六会計、総額で歳入二十二億八千八百六万円、歳出二十一億七千八百七十七万二千円となる。(監査委員意見書後載。)

- 〔中芸広域連合規約一部変更〕
◎広域連合の収入役の選任方法、任期の変更。
〔馬路村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例制定〕
◎地方公務員法の規定により職員の内免、給与、分限懲戒処分、勤務状況等を公表。
〔馬路村福祉医療費助成に関する条例。馬路村母子及び父子家庭の医療費助成に関する条例の一部改正〕
◎医療費助成制度等の見直しに伴う一部改正。
〔馬路村幼児医療費の支給に関する条例の廃止〕
◎馬路村福祉医療費助成に関する条例へ一元化する。
〔こうち人づくり広域連合規約の一部変更〕
◎四万十市、仁淀川町等の新設合併に伴う規約変更。
〔馬路村過疎地域自立促進計画の変更〕
◎林道押谷線、城山栃谷線開設事業の施策区分の変更。
〔十七年度一般会計補正予算〕
◎歳入歳出それぞれに二千六百万円追加し総額を十九億四千五百四十万円とする。
主な歳入では、地方交付税四千五十万円、国県補助金五

百万円、繰越金八千万円の増繰入金、村債一億円減となる。歳出では、総務企画費二百八十万円、民生費繰入金二百三十万円、林業費補助金九百三十万円、土木費五百万円が主なものである。

〔十七年度簡易水道特別会計補正予算〕
◎歳入歳出それぞれに九十万円追加し総額三千六十万円とする。

〔十七年度国民健康保険特別会計補正予算〕
◎歳入歳出それぞれに二百五十万円追加し総額一億三千五百七十万円とする。

歳入では、国庫支出金百十万円、一般会計よりの繰入金百五十万円、保険給付費(医療費)が主な歳出である。
〔十七年度診療所特別会計補正予算〕
◎予算書内部の組み替え補正で総額九千九百七十万円の変更にし。
〔十七年度老人保健特別会計補正予算〕
◎歳入歳出それぞれに八百五十万円追加し総額で二億七百万円とする。主な歳入では、交付金三百七十万円、国県支出金四百七十万円。歳出では医療諸費に八百四十万円となる。

〔十七年度国民健康保険特別会計補正予算〕
◎歳入歳出それぞれに二百五十万円追加し総額一億三千五百七十万円とする。

一般質問

一般質問には、五氏が立ち行財政全般について執行部を質した。(質問主旨、執行部答弁要旨)

問 清岡博基 議員
一、(株)エコアス馬路村の経営状況について。(十六年度決算、十七年度経営計画)

答 一、十六年度決算は、緑の雇用事業等導入、人員配置管理について。

等により人件費の削減を行ったが三千六百万円の赤字計上となった。(赤字累計二億六千万円)十七年度は更なる諸経費の節減、人員配置の再考、営業努力を行い赤字解消に努める。尚、本年度は八月末現在で目標を四十二%の達成率である。減価償却を除くキャッシュフローで百万円のプラスを目指す。
二、当該資料は、現在エコアス馬路村の敷地内に在り、雨ざらしの状態である。管理不備については深く反省している。今後は良好管理を行うと

ともに資材の活用方法について関係者と協議する。

問 栞山逸男 議員

一、アスベスト(石綿)について。(村内施設の調査結果)
二、地域指導主事廃止について。(地域教育の切り捨て)

答 一、本村の公共施設には使用例が無い。千㎡以下及び個人の施設に対しては調査手段はないが、県広報、パンフレットにより自己調査を。
二、指導主事の村単独配置は困難だが、次年度配置に向け関係団体とともに努力する。

問 岡田長康 議員

一、十六年度決算審査意見書に対する村長の対応は。
(一)馬路会負担金。(二)柚湯ツアー。(三)ふるさとセンター運営費。(四)柚子振興補助金(農機具購入)。(五)郷土館管理費。(六)森の諸情報館管理委託費。(七)森林鉄道運営、魚梁瀬森林保養センター運営委託費。(八)住基ネットワークシステム(カード交付状況)。(九)出納閉鎖期間の事務処理について。

二、新体制についての抱負は。
答 一、(一)高知馬路会幹事等と今後の進め方について協議を行う。

(二) ツアー終了後も、カップル誕生に向けて助力を行う。
(三) ふるさとセンターの未使用施設については、今後の情報発信への基地として、有効に活用していく。

四、農協からの指定寄付を原資としているが、村からの農機具の購入先指定はできない。販売体制等について農協と協議する。
(五) 郷土館の管理、運営は、同館運営審議会において、馬路温泉への人の動きも考慮して検討する。
(六) 森の情報館は、情報発信の最前線として一定その成果は評価する。
(七) 森林鉄道は、本村観光事業に一助を戴いているが、保養センターとともに委託先、方法を研究していく。
(八) 住基ネットは、小規模自治体では極めてその必要性を認めてないが、法律により導入した。住基カード交付については、本村二件、県下的にも交付は滞っている。
(九) 出納閉鎖期間の事務処理については、その違法性を各課に周知徹底する。
二、十月二十一日より新体制が整うこととなるが、今後ともよろしくご指導を願う。

問 五味隆仁 議員

一、高齢化対策について。(介護保険制度を含めた今後の施策は)
二、少子化対策について。

答 一、本村でも六十五歳以上の方々が人口に対し約三十三%を占める中、高齢者対策として、高齢者保険福祉計画、介護保険事業計画を中芸広域連合及び県東部福祉保健所とともに年度内策定を進めている。又、本村の現状課題を認識の上諸施策に取り組む。

問 新玉一心 議員

自主防災について。
(初期防災)

答 防災対策、特に初期防災については、消火器の設置及び取り扱い講習、防火水槽等の点検、周知を含めた防災訓練を村内各所で実施する。

平成十六年度 決算審査意見書

依存財源(歳入)・経常的経費急伸(歳出)

平成十六年度六会計の歳入歳出決算に対して認定審査を行い、それに基づく意見書を各執行機関長へ提出した。
意見書の中で一般会計について抜掲掲載をする。

歳入決算額は十七億八千二百八十二万二千円となる。そのうち自主財源は四億四千三百

七十万七千円と全体の二十五%弱であり、地方交付税、国県補助金等に依存した厳しいものとなっている。今後この地方交付税、国県補助金の更なる減少は必至であり、起債(借金)の増、基金(貯金)の減が危惧される。
歳出では、経常的経費が急

伸し、中でも公債費(借金返済)の伸びが見られる。投資的経費は反対に減少の一途をたどっている。

注 経常収支比率 財政構造の弾力性を判断する指標で経常一般財源を経常的経費に充てた割合で七十〜八十%が基準値となる。これを越すと財政構造の硬直化となる。十六年度は九十一・六%である。

注 公債費比率 地方債(村の借金)の元利償還金が、標準財政規模に占める割合で十五%以内が目途。十六年度は、十七・七%で警戒ラインを突破。

意見書

今定例会に、一件の意見書案が提出され、国の関係機関長へ提出した。

「義務教育国庫負担制度」を堅持し、教育の機会均等を求める意見書」

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣他関係大臣

お知らせ

日 日時
所 場所
内 内容
申 申し込み先
問 問い合わせ先
TEL 電話
休 休館日

10月は労働保険適用促進月間です

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者を守るために政府が管理、運営している強制的な保険です。原則として労働者を一人でも雇っていれば、事業主は労働保険の手続きを取り、労働保険料を納めなければなりません。

労働保険の加入がまだお済みでない事業主の方は、今すぐ手続きをお願いします。

問・TEL ハローワーク安芸 (0887-34-2111)

知っていますか、労働基準法 守られていますか、法定労働条件

労働基準法は、労働時間や有給休暇、解雇の手続きなど、労働の最低基準（法定労働条件）を定めた法律です。労働基準法で定めた基準に達しない労働条件は無効となり、刑罰も科せられます。労働基準監督署による昨年1年間の高知県内の指導結果では、約66%の職場で何らかの労働基準法等の違反が認められました。労働者の皆さん、泣き寝入りすることのないよう、労働基準法に熟知しましょう。

問・TEL 高知労働局監督課 (088-885-6022)
高知労働局総合労働相談コーナー
(0120-783-722)

最低賃金は613円に改正！

高知県労働局では、県内すべての労働者に適応される「高知県最低賃金」(現行の時間額611円)を、平成17年10月1日から時間額613円に改正施行することにしました。

この決定により、10月1日以降分として労働者に支払う賃金は、1時間613円以上としなければなりません。

問・TEL 高知労働局 賃金室 (088-885-6024)
安芸労働基準監督署 (0887-35-2128)

こんなときには、お電話を

被害に遭われた、あなた！警察はあなたの味方です。話を聞いてもらいたいけれど、警察署に行くのはちょっと勇気がいると迷われている方、次のような各種相談電話を設置し、それぞれの専門職員が相談にお答えします。ひとりで悩まないで、まず電話をかけてください。

相談電話・内容	電話番号
警察総合相談電話 警察に対する意見、要望、各種相談	088-823-9110 #9110
いじめ相談電話 いじめに関する悩み	088-872-7867
悪質商法110番 押し売り、悪徳商法等に関する相談	088-824-4000
レディースダイヤル110番 性犯罪被害に遭われた女性の悩み	088-873-0110
暴力相談電話 暴力団等の被害に関する悩み	088-823-0110

問・TEL 安芸警察署警務課 (0887-34-0110)

芸術の秋、文化の秋です

乙女文楽へどうぞ！

平成17年度村文化祭関連事業として、現代人形劇センターによる乙女文楽の上演を行います。力強い三味線の音色、腹の底から歌う義太夫に合わせた文楽をご鑑賞ください。村内小学生、中学生も全員鑑賞します。

日 平成17年10月26日(水)
午後1時半開場 午後2時開演

所 馬路体育館

内 西畑人形劇「八百屋お七 半鐘の場面」

乙女文楽「増補大江山酒呑童子」

人形遣い体験「傾城阿波の鳴門」(中学生)

入場料 大人1000円

自由民権記念館特別展へどうぞ

「自由は土佐の山間より出づ」と言われるほど多くの自由民権運動者を排出した高知県。その歴史に学び新しい歴史を切り拓くための特別展「民権百年から120年への軌跡展」を開催しています。

日 平成17年10月23日(日)まで
9:30~17:00

所 高知市立自由民権記念館 自由ギャラリー

休 月曜日、祝祭日の翌日

観覧料 無料

村内あちらこちら



8月6日 魚梁瀬子ども会夏のキャンプ



8月15日 馬路納涼祭



9月8日 敬老会（魚梁瀬）



9月12日 敬老会（馬路）



9月18日 第25回馬路村おしどりマラソン大会

村のできごと

《8月》●

- 4日 キャリア・アドバイザー講話
高校生との集い（馬路中学校）
- 6日 魚梁瀬子ども会夏のキャンプ（～7日）
- 8日 88クリーンウォーク四国
豆腐づくり教室（川内豆腐製造所）
- 12日 県中学野球選手権大会
- 13日 中学学年別夏季卓球大会
- 15日 馬路納涼祭
- 17日 新着任教員研修
- 19日 中学校教科書採択会議
- 23日 印章づくり教室
- 24日 小学校中芸水泳記録会（安田中）

《9月》●

- 1日 村内小中学校始業式
- 4日 馬路村総合防災訓練（魚梁瀬）
- 8日 敬老会（魚梁瀬）
- 9日 第1回キャリア教育推進連絡協議会
- 11日 第44回衆議院議員総選挙
- 12日 敬老会（馬路）
- 18日 第25回馬路村おしどりマラソン大会
- 20日 第5回定例議会（～26日）
- 21日 秋の全国交通安全運動（～30日）
- 23日 馬路保・小・中運動会
- 24日 わくわく科学教室
- 25日 魚梁瀬保・小・中運動会

編集後記

平成十五年一月二十二日議会で、馬路村単独自立が採択され、三年目が過ぎようとしています。小さな村が単独で生きていくための重要課題、「人育て」「人づくり」「地域づくり」はどの程度進んできたのでしょうか。

「お隣のおばあちゃんの姿が見えないけれど、かぼちゃの煮物でも届けようか」、「今日も車で子どもを学校へ送ったけれど、これでいいのかな」……。大人がまず行動を振り返り、その意味を考え、正しい行動に変え、日々積み重ねていく。おかしい！と思ったら、声をあげる。愚痴と責任転嫁は、明日を拓きませんよ。（安）

10月・11月 むらの行事予定

日	月	10月	日	月	11月
1	土		1	火	絵本のよみきかせ (交流センター) 10:00~10:30
2	日	第14回おらが村心臓やぶりフルマラソン大会	2	水	
3	月		③	木	文化の日
4	火	中高連携公開授業 (魚梁瀬中学校)	4	金	校内マラソン大会 (魚梁瀬中学校)
5	水		5	土	四国山の日間伐体験 (雨木ヶ峰) 安芸郡市駅伝大会 秋の西又山登山
6	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 地震避難訓練 (魚梁瀬小学校)	6	日	山師達人選手権 (イオン高知)
7	金		7	月	村内中学生職場体験学習 (~11日)
8	土		8	火	戦没者追悼式
9	日	馬路地区村民運動会	9	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00 魚梁瀬子育て支援教室 (多目的施設) 10:00~12:00
⑩	月	体育の日	10	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00
11	火	就学前健康診断 (馬路保育所)	11	金	行政相談 (就業改善センター) 9:30~12:00
12	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00 魚梁瀬子育て支援教室 (多目的施設) 10:00~12:00 秋の親子遠足 (魚梁瀬保育所) 接遇研修 (馬路中学校)	12	土	
13	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 中芸高校ペアレント体験学習 安芸郡市秋季陸上大会	13	日	
14	金	3歳児健診 (奈半利町保健センター) 13:00~受付 入籍・行政相談 (就業改善センター) 10:00~15:00 魚梁瀬古式弓射式 (魚梁瀬熊野神社)	14	月	馬路小学校自由参観日 (~16日)
15	土	魚梁瀬神祭 神輿・舞	15	火	絵本のよみきかせ (多目的施設) 10:30~11:00
16	日	馬路小学校参観日	16	水	ポリオ予防接種 (魚梁瀬 10:00~ 馬路 15:00~)
17	月	1日行政相談 (就業改善センター) 10:00~15:00	17	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00 柚子ボランティア (馬路中学校)
18	火	絵本のよみきかせ (交流センター) 10:00~10:30	18	金	1歳6か月児健診 (安田町保健センター) 13:00~受付
19	水	祖父母との集い (馬路保育所)	19	土	わくわく科学教室 (就業改善センター) 9:30~12:00
20	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00	20	日	
21	金	就学前健康診断 (魚梁瀬保育所) 乳幼児健診 (田野町保健センター) 13:00~受付	21	月	
22	土	高知馬路会 (高知市 得月樓)	22	火	
23	日	魚梁瀬地区村民運動会	⑳	水	勤労感謝の日
24	月	高知県身体障害者運動会東部地区大会 (結いの丘ドーム) 湘南学園高等学校修学旅行 (~25日) 犬・猫引き取り日	24	木	東部地区道徳教育協議会公開授業 (魚梁瀬中学校) 午後 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00
25	火		25	金	キャリアアドバイザー講話 (魚梁瀬中学校、馬路中学校) 乳幼児健診 (田野町保健センター) 13:00~受付
26	水	乙女文楽 (馬路体育館) 14:00~16:00 魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00	26	土	
27	木	馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~16:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00 絵本のよみきかせ (多目的施設) 10:30~11:00	27	日	
28	金	村内小学校陸上交歓会 (馬路地区村民グラウンド)	28	月	犬・猫引き取り日
29	土	わくわく科学教室 (就業改善センター) 9:30~12:00	29	火	
30	日	馬路中学校参観日 (キャリア・アドバイザー講話・氷の芸術実演) 校内意見発表会 生活体験通学舎 (天保の家・嘉永の家) (~11月2日)	30	水	魚梁瀬健康ほっとサロン (多目的施設) 10:00~16:00
31	月	接遇研修 (魚梁瀬中学校) ハロウィーン (馬路小学校)			

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
8月	0	2	0	2	2	2	0	4	1,161
9月	1	2	0	3	1	1	0	2	1,162

(馬路 897人, 370世帯)
(魚梁瀬 265人, 130世帯)

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL08874-4-2216 FAX08874-2-1010

E-mail adress uma-ji-v@kochinet.ed.jp

印 刷：有限会社 大 鳥 (安芸タイプ)